

ふれあい情報

2018年 5月11日(金) 第280号

■発行 日本退職者連合
 ■発行人 菅井 義夫
 ■連絡先 〒101-0062
 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11

<TEL> 03-5295-0507<FAX> 03-5295-0541<e-mail> ntr@sv.rengo-net.or.jp

退職者連合や日弁連、中央労福協が国会請願デモ 5月9日・日比谷公園で出発式



▲デモの先頭で怒りの声をあげる退職者連合人見会長(横断幕持ち左)、菅井事務局長。左は中央労福協の花井圭子事務局長。

カジノノ賭博合法化阻止を訴え

退職者連合180人参加

安倍政権が強引にすすめるカジノ賭博合法化阻止に向けて退職者連合は、5月9日12時から日弁連(日本弁護士連合会)や中央労福協、消費者団体などと国会請願デモを行いました。衆・参議員面会所前では、立憲民主党や国民民主党、社民党、自由党、共産党が請願を受け付けました。デモには全体で250人が参加。退職者連合からは、産別・関連退連、地方退連関東ブロックの会員など180人が結集しました。

国民の声無視し、カジノ合法化を進める安倍政権

2016年12月15日未明、国民の声を無視し、臨時国会の会期を延長してまでカジノ解禁推進法の成立をはかった安倍政権。政府が昨年実施したパブリックコメントでは、67・1%が「カジノ解禁推進反対」の意見表明をしました。しかし安倍政権は、具体的にすすめるための「カジノ解禁実施法案」を4月27日に閣議決定し、国会に上程する暴挙に出ました。

退職者連合は日弁連と連携して反対行動取り組む

日弁連は2014年以来、カジノは高齢者など市民生活破壊や反社会的勢力による施設内外の支配をもたらすとして反対の意見書や声明を発表。行動では7回にわたる院内学習会、2回のシンポジウム、都内主要駅頭での数回にわたる街頭宣伝活動、団体署名やパブリックコメントの取り組みなどを実施してきました。退職者連合



写真左は、出発前のミニ集会で司会する菅井事務局長。中央は日弁連太田副会長、隣は新里弁護士。写真右は、宣伝カーを先頭に国会に向けデモ行進する参加者。



▲衆・参議面前ではカジノに反対する各政党の議員や秘書が出迎え、カジノ導入阻止に向けてデモ参加者とともに「がんばろう」を三唱した。(衆議院議面)。写真下(円内)は、各党の代表に請願書を渡す新里弁護士。(同)

もこの一連の取り組みに積極的に連携してきました。

この日のデモはこうした運動の積み重ねの上で「カジノ解禁推進法」廃止と「実施法案」廃案をめざして実施したものです。

谷公園霞門前には、各団体からの参加者が集合。11時40分からデモへの意思統一のためのミニ集会(出発式)が開かれました。

司会の退職者連合・菅井義夫事務局長は「人を不幸にすることで儲けるビジネスなどあり得ない。特に高齢者が狙われている」と強調。今日の国会請願デモを成功させ、何としてもカジノ賭博合法化を阻止しよう」と決起を訴えました。

続いて主催者の日弁連を代表

して太田賢二副会長があいさつ。また日弁連カジノ・ギャンブル問題検討ワーキンググループ座長で全国カジノ賭博場設置反対連絡協議会代表の新里宏二弁護士が国会請願デモについて行動提起しました。

集会後、参加者は「カジノ反対」のシブプレヒコールを繰り返しながら、国会に向けて元気よくデモ行進を行いました。

またデモ終了後、日弁連は衆議院第2議員会館でカジノ反対の院内集会を開きました。

第89回メーデー中央大会

4月28日、晴れわたった青空の下、第89回メーデー中央実行委員会(委員長・神津里季生連合会長)主催による中央大会が代々木公園B地区で開催されました。退職者連合からは、産別・関連退連と東京高退連の会員あわせて527人が参加し、人見一夫会長が壇上で紹介されました。

「平和・人件を守り、あらゆる差別をなくそう！働く者のための働き方改革をすすめ、すべての仲間と結集し



▲退職者連合のテント前(右端)に集合した会員のみなさん。

よう！」をメインスローガンに開かれた今年のメーデー中央大会には、連合組員約4万人が参加しました。式典後、参加者は式典会場の隣につくられ

た「ふれあい祭り」の広場で様々なイベントを楽しみ、さわやかな一日を過ごしていました。

今年も家族連れの参加が目立ちました。

退職者連合から527人参加

ホームページは退職者連合で検索を

退職者連合

検索